

檜葉町駐在現地確認概要(平成29年9月4日～9月8日)

確認日	確認目的	確認箇所	確認状況	プラント関連 パラメータ
9月4日	固体廃棄物貯蔵庫第9棟の設置工事の状況確認	固体廃棄物貯蔵庫第9棟	○貯蔵庫棟及び付帯設備棟からなる固体廃棄物貯蔵庫第9棟について、設置工事の進捗状況を現場確認した。 貯蔵庫棟については、北側の面は、鉄筋足場の解体作業に取りかかり始めていたことから、コンクリートの打設や左官工事等の作業が終了したものと思われた。南側及び西側の面は、シートで覆われており、外壁の左官工事が行われていた。 付帯設備棟については、貯蔵庫棟と同様にシートで覆われており、外壁の左官工事が行われているものと思われた。 トラブルが発生することなく、作業が進められていることを確認した。	11時44分現在
9月5日	ガレキ一時保管エリアXの状況確認	ガレキ一時保管エリアX(固体廃棄物貯蔵庫第1、2棟東側)	○ガレキ一時保管エリアXの現状について、現場確認した。 当該地には、1～6号機の建屋周りを除く発電所構内で発生したガレキ等を搬入しているとのことで、それらの廃棄物を収納したコンテナ又はノッチタンクが保管されていることを確認した。この他、β線が検出され、通常の焼却処理ができない可燃物や、アスベスト含有が疑われる壁材(飛散防止対策済み)も保管されているとのことであった。 廃棄物が飛散・流出等するおそれがなく、適切に保管されていることを確認した。	11時22分現在
9月6日	固体廃棄物貯蔵庫における廃棄物の管理状況等確認	—	○固体廃棄物貯蔵庫第6～8棟で保管しているドラム缶の管理方法等について、聞き取りした。 固体廃棄物貯蔵庫内で保管しているドラム缶は定期的に確認しており、腐食が確認されたドラム缶は、簡易補修後、ボックスコンテナに移し替えているとのことであった。また、固体廃棄物は一部を除き、袋に詰められた状態でドラム缶に収納しているため、ドラム缶が腐食し、貫通しても飛散のおそれはないとのことであった。なお、結露対策として、第9棟側のシャッターを常時閉にしたり、地下1階にあったエアカーテンを地下2階に移設したりして対策を図っているとのことであった。	11時35分現在
	Fタンクエリア雨水移送配管の設置状況の確認	Fタンクエリア	○FタンクエリアのH、I、Jタンクの雨水移送配管の設置状況を確認した。 H、I、Jタンクは、鋼製の堰が設置されており、堰内雨水は、水中ポンプで集水され、当該エリアの北西端にあるヘッダーを介して、A・Bタンク及びCタンクのエリアに設置されている雨水タンクに移送されていることを確認した。	
9月7日	地下水バイパス排水状況の確認	免震重要棟集中監視室	○地下水バイパス一時貯留タンクからの排水操作に立ち会った。水質が確認されたタンクから定められた手順により排水が行われていることを確認した。	9時24分現在
	地下水バイパス海水サンプリング状況の確認	地下水バイパス排水口	○地下水バイパス排水に伴う海水サンプリングに立ち会った。福島県測定分も含めて5本採取した。	
	サブドレン処理水排水状況の確認	免震重要棟集中監視室 サブドレン処理水一時貯水タンク、移送設備	○サブドレン一時貯水タンクからの排水操作に立ち会った。水質が確認されたタンクから定められた手順により排水が行われていることを確認した。	
	サブドレン海水サンプリング状況の確認	5、6号機放水口北側	○サブドレン排水に伴う海水サンプリングに立ち会った。福島県測定分も含めて5本採取した。	
9月8日		廃炉安全監視協議会		15時23分現在

※プラント状況については、プラント関連パラメータをご参照ください。